

安全報告書

2018年



2018年 6月

明知鉄道株式会社

利用者をはじめ地元の皆様へ

日頃から明知鉄道をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

また、弊社の運営にご理解とご支援を賜り感謝を申し上げます。

安全で安定した輸送の提供が鉄道事業者の最大の責務として、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守を徹底するべく社員一人ひとりが安全輸送の完遂に努めております。

今後とも安全基本方針に基づいた基本動作による作業の徹底を図り、多くのお客様に安心してご利用していただきますよう事故防止を徹底してまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解頂くために公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、お気づきの点やご意見などを頂ければ幸いです。

明知鉄道株式会社
代表取締役社長 小坂 喬峰

1. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。当社の基本方針として「安全綱領」を次のように掲げ、社長以下社員全員に周知・徹底しております。

- ① 安全の確保は輸送の生命である。
- ② 規程の遵守は安全の基礎である。
- ③ 執務の厳正は安全の要件である。

・運転事故防止の心がけ

- ① 決められたことは必ず守る
- ② ミスは二度起こさない
- ③ システムの仕組みを知る

(2) 安全目標

鉄道輸送安全目標（2018年）は次のとおりです。

社員一同、目標達成に向けて取り組む所存です。

区分	項目	内容
定量的な目標	列車事故（衝突、脱線、火災）	乗客の死傷を伴う事故を発生させない。
	人身障害事故	発生件数0を目指す。
	踏切障害事故	発生件数0を目指す。
定性的な目標	トップによる現場巡視と対話	年2回は実施する。
	安全教育の実施	職種ごとに訓練計画をたてて実施する。

2. 事故等の発生状況

(1) 鉄道運転事故

当社は、1985年(昭和60年)の開業から2017年度まで、運転無事故を継続しています。

過去5年間の輸送障害(30分以上の遅延や運休)の発生件数と死傷者数の推移は次のとおりです。

年度	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
輸送障害事故	3	5	3	4	4
死傷者	0	0	0	0	0
うち死亡者	0	0	0	0	0

- ※ 2013年度は台風18号、26号による暴風雨での運転休止、大雪による倒木除去のための運転休止で3件です。
- ※ 2014年度は落雷による信号故障と台風11、18、19号による暴風雨のためと倒木による運転休止で5件です。
- ※ 2015年度は倒木による列車の抑止1件、車両故障による列車遅延1件、信号故障により運転休止2本及び列車遅延での3件です。
- ※ 2016年度は台風による暴風雨での遅延と運転休止2件、車両故障による輸送障害1件、踏切障害1件での4件です。
- ※ 2017年度は大雨警報による列車抑止が2件、台風による暴風雨により遅延及び運転休止2件の4件です。

(2) 災害(地震、暴風雨、雪害等)

暴風雨・7月4日19時00分、恵那地区に大雨警報が発令され風雨が激しくなり運転規制値に達したため運休6本、遅延1本を行った。線路等に異常はなかった。

- ・8月7日19時56分、恵那地区に暴風雨警報が発令され風雨が激しくなったため、運転規制を実施し運転休止5本を行った。線路等に異常はなかった。
- ・8月18日11時02分、恵那地区に大雨警報が発令され風雨が激しくなり運転規制値に達したため運休2本、遅延1本を行った。線路等に異常はなかった。
- ・10月22日19時56分、恵那地区に暴風雨警報が発令され風雨が激しくなったため、運転規制を実施し運転休止5本、遅延1本を行った。線路等に異常はなかった。

地震、雪害等

2017年度の発生はありません。

(3) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

2017年度の発生はありません。

(4) インシデント(事故の兆候)

2017年度の発生はありません。

3. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 重点安全施策

・線路まくら木の更換

2017年度は飯沼駅～飯羽間岩村駅間の全線内でマクラ木500本を更換し、レールの締結を強化しました。

・踏切設備及び橋梁ペイント塗装

明智駅～恵那駅間の踏切設備のペイント塗装工事、東野駅～飯沼駅間の保古川橋梁・飯沼駅～阿木駅間の富田橋梁の橋梁ペイント塗装工事を施工し安全性の向上を図りました。

(2) 人材教育

・指導訓練

当社では、安全輸送を徹底するために運転指令員、駅社員、運転士、車両区員、施設区員の年間指導訓練計画を設定し、事故防止に向けての教育を実施しています。また、毎年6月に「知識確認」テストを実施、運転の安全確保に関する規程、規範等の把握度を確認し指導を行っています。

・運転士養成

運転士の高齢化に伴う世代交代を図るため、若い人材を採用し社内教育にて運転士の養成を実施しています。

最近の運転士養成

2017年度1名 動力車操縦者免許証取得

(3) 緊急時対応訓練

毎年10月に脱線復旧訓練を実施しています。これは、地震及び風水害、運転事故等で列車が運転途中で脱線したことを想定し、発生時の対応手順により早朝の非常呼び出し訓練、列車防護訓練を実施し、続いて車両を救援する場合を想定し復旧手順と作業等を訓練しています。

平成27年度は伝令法による救援列車の運転、故障車両との併合訓練、けん引訓練を実施しました。

毎年10月に行う伝令法による救援列車訓練





(4) 安全のための投資

・車両の更新 アケチ 12 号は 1998 年制(平成 10 年)で 19 年が経過しており整備保守に多くの経費を費やしていましたが、3月 27 日に新車(アケチ 102 号)新潟トランス(株)製を購入し更新しました。初期の検査、運転士の訓練も終わり、ただいま順調に運転を行っています。



新車両購入 アケチ 100 形 (アケチ 102 号)



車内風景



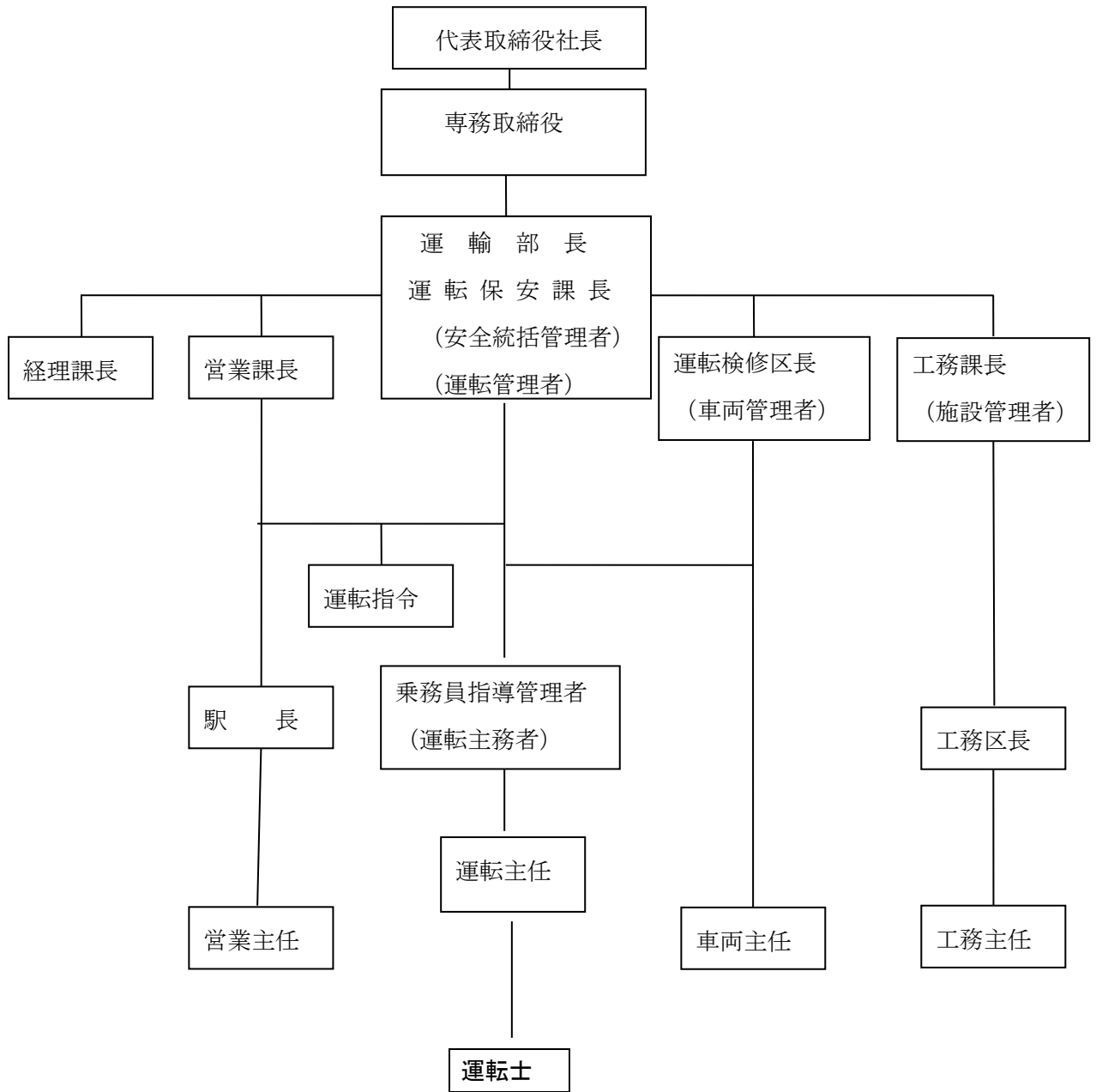
試運転状況



アケチ 101 号とアケチ 102 号

4. 安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、列車の運行、運転士の資質を保持する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
経理管理者	安全統括管理者の指揮の下、輸送に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

5. 地元の皆様のご協力とお願い

(1) 日頃から、鉄道沿線の植樹、草刈り作業等について各種団体様から協力していただき、ありがとうございます。おかげさまでお客様から「鉄道沿線がきれい」と、お褒めの言葉をいただいております。

(2) 「踏切事故に注意してください」

踏切前では一旦停止し、左右から列車が来ないのを確認して渡って下さい。

沿線では第4種踏切（踏切警報機、遮断棹^{しゃだんかん}なし）の踏切が26ヶ所あり、今までの踏切事故の殆どが、第4種踏切で発生していますので注意をお願いします。

警報機付き踏切では警報機が鳴ったら無理に渡ろうとしないようお願いします。

また、より安全で信頼される鉄道をつくるため、皆様からお寄せいただいた声を役立てるよう努力しています。

6. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

明知鉄道株式会社

電 話 0573-54-4101

F A X 0573-54-4302